笑顔

塁球の神様ありがとう…

棚倉町立棚倉中学校ソフトボール部

祝　　辞

棚倉町長
藤田　幸治

この度、棚倉中学校女子ソフトボール部が、第37回東北中学校ソフトボール大会において、初出場、初優勝され、全国大会に出場し、ベスト8まで勝ち進んだことは、見事であり、心よりお喜びを申し上げる次第であります。誠に、おめでとうございます。そして、お疲れ様でした。

棚中ソフトボール部の皆さんは、昨年の県の新人大会を戦い抜いて、見事に初優勝の栄冠を勝ち取られてから、今年5月の東北大会出場と、今までの戦績は立派なものでありました。今回の中体連の大会では、王者として、追われる立場として、厳しい戦いに臨むこととなりましたが、このような中で勝ち進むということは、簡単なことではなく、辛いことや苦しいこと、そして、けがや疲れとも戦いながらも、県大会で優勝、東北大会でも優勝、そして全国大会へ出場という快挙を成し遂げられ、棚倉中学校の歴史に残る出来事となりました。これからは、後輩たちが、この結果を目標としてくれることでしょう。

今回の結果については、もちろん素晴らしいことと思っていますが、それ以上に、これまでの努力が素晴らしかったのではないかと思います。

具体的に言えば、チャンスを生かし、ピンチをしのぐ精神力、走・攻・守の技術力、試合を戦い抜く体力を備えたということです。技術や体力だけではなかなか勝てません。もちろん精神力だけでも勝てません。元よりこれらの力を持っている人はおりませんが、練習と努力、そして、この数ヶ月間の中体連各大会における激しい戦いが、皆さんを育てたものと思います。

これらの力は、スポーツでいうところの心・技・体、棚中の教育目標でいえば、知・徳・体に通じるところがあるかと思いますが、ソフトボールだけでなく、他のスポーツにも勉学にも通用する力であります。東北大会優勝、全国大会出場の皆さんですから、これからはこの素晴らしい力を日々の生活でも生かしていただきたいと思います。

終わりになりますが、棚中ソフトボール部を支えておられます御父兄の皆さんはじめ、御指導くださったコーチ、先生方の日々の御苦労に対しまして、改めて敬意を表します。今後とも御指導、御助力のほどよろしくお願いいたします。棚中ソフトボール部が、これからも強豪として、全国に名を轟かせることができますよう、ますますの御活躍を御期待して、お祝いの言葉といたします。

祝　　辞

棚倉町教育委員会教育長
渡邉　勇喜

この度の棚倉中学校女子ソフトボール部の県南大会･県大会の優勝は勿論ですが、東北大会での優勝、そして全国大会に出場し、ベスト8に勝ち進んだことは、皆さんが伝統ある棚倉中学校に輝かしい歴史の1ページを綴られたことになり、誠に見事であり、素晴らしいことで、心からお喜びを申し上げます。

これもひとえに、選手の皆さんが、仲間を信じ励まし合って、吉田監督や上野先生、そして穂積･五十嵐両コーチのもとで日々練習に練習を積み重ねた結果であろうし、あわせて家族の皆さんや地域の皆さんの応援の賜物であろうと思います。

振り返ると、皆さんの「新人大会」での弱々しさはどこに行ってしまったのか、中体連大会でのあの溌剌としたプレー、そしてチーム全員の「笑顔」は見違えるほどの成長を見せ、私たちに大きな希望と感動を与えていただきました。

そして、猛暑の中での「県大会」では、今までの練習の成果が遺憾なく発揮され、見事優勝されたことは本当に素晴らしく、新たな感動を皆さんから頂いたことに、心から感謝しております。

「東北大会」には応援に行けませんでしたが、これまた素晴らしい活躍で、並み居る強豪を破り優勝されたことは、素晴らしいことでした。

そして「全国大会」では、あの酷暑の中で万全な体調とは言えない状況の中で、強豪ひしめく静岡県の代表、愛鷹中に逆転勝ちをし、続く埼玉県代表在家中に惜敗しましたが、全国約1万校の中学校のベスト8であることは何よりも誇れることだろうと思います。

こうした成果は、何事にもこつこつと努力することがどれだけ大切なものであるかを正に身をもって証明してくれたものであり、棚倉中学校の同級生は勿論、棚倉町の後輩達にも勇気と希望を与えていただいたと思っています。

どうか今回のこの栄誉を礎として、棚倉中学校が文武両道の目標に向かって一層の研鑽を重ねられることをお祈り申し上げますとともに、今後とも皆様方には今まで以上のお力添えを賜りますようお願い申し上げ、祝辞といたします。

新しい歴史の創造

校長
古張　金一

今年の夏は、ことのほか暑く、夏休み中もゆっくり体を休めることができなかった方も多いかと思います。その暑さの中、ソフトボール部の皆さんが、県南大会優勝、県大会優勝、東北大会優勝、と優勝を重ね、全国大会に出場しました。暑さに負けず、困難を乗り越え、東北、全国で活躍できたことは素晴らしいです。

特に、全国大会では、初戦で4対3で愛鷹中に競り勝ち、今までの試合で培った底力を発揮できました。試合における敵は、相手ばかりでなく、自分たち自身も時として相手に味方をしてしまいます。それは、弱い心であります。毎日の厳しい練習に耐え、怠けたい自分に打ち勝ち、プレッシャーにも負けずに、上位大会に進んだ選手の皆さんに心から拍手を送ります。

感動をありがとう。暑い夏に、熱い思いを試合にぶつけ、多くの棚倉町民、棚倉中学校の生徒・先生方に感動を与えてくれました。

生徒の皆さんには、集会でお話したことですが、ナンバーワンでもなく、オンリーワンでもなく、ジャストワンを目指すことであります。正に、これが棚倉中学校の生徒であるという姿であります。

鍛えよ心・技・体のスローガンのもと、重圧をはねのけ、全国大会で活躍し、ベスト8になったことは、ジャストワンを実現した姿であります。自分たちに自信と誇りを持ってください。

偉業の達成までには、たくさんの方々の応援があったことも事実であります。一生懸命行えば、応援してくれる方々が増えると思います。応援いただきました保護者の方々、地域の方々にも感謝申し上げます。

ソフトボール部の皆さんによって、棚倉中学校の新しい歴史の1ページがつくられたのです。1・2年生の活躍により、2ページ目が開かれることを期待します。偉業達成に、ご支援・ご協力いただいた方々に敬意と感謝を申し上げまして、挨拶といたします。

STAFF スタッフ

棚倉中学校
吉田　博文

素晴らしきかな。棚中ソフトボール部

福島県大会優勝、東北大会初出場初優勝、全国大会初出場ベスト8。棚中ソフトボール部にとって22年は、忘れられない年になりました。

教員をしている間に、「一度でいいから全中（zencyu;何といい響きか）に出てみたい。」とずっと思っていました。今年が夢実現の年になり、最高の活動ができたと感じます。生徒の活躍に加え、宮川会長を中心とした保護者会のまとまりとすごさ、穂積・五十嵐両コーチの熱い指導、上野先生の献身的な指導とこまやかな配慮。私もその中の一つとして機能できたこと、ソフトボール部の一メンバーとしていられたということがうれしいです。ひょっとするとこの中のどれか一つでも欠けていたら、全中までは行けなかったかもしれません。

全中に出場するにあたって、棚倉町をはじめ多くの方々から温かい言葉や激励金を頂戴しましたことも本当にありがたいと思います。広島にて安心して試合に臨めたのも、これらの支えがあったればこそです。

過日NTSの選考会があり、県全体で合格者10人中何と4人が棚中で占めるという偉業を成し遂げました。県のトップチームとしての存在を十分知らしめることができたと思います。今後もソフトボール部が強さを保ち、福島に「棚中あり」とまで言われるように頑張ります。

棚倉中学校
上野　美紀

感　　謝

全国大会ベスト8、おめでとうございます。

ソフトボールの強豪校、伝統校といわれる中学校からすれば、中学校に入ってからソフトボールを始めた生徒がほとんどの棚中が、チームワークと笑顔、保護者会の熱い応援を武器に史上初の秋、夏県大会優勝、東北大会優勝、そして全国大会ベスト8の快挙を成し遂げたことは驚きかもしれません。しかし、この栄光の影には並々ならぬ努力がありました。

振りかえってみれば、平成21年7月の中体連県大会の一回戦の敗退がはじまりでした。『自分は人並みの練習では人並みになれない。人の倍してこそ人並みである。人に勝つためには3倍の努力がいることを忘れるな。』という、ある高校の部活動心得があります。まさに、昨年の夏からの棚倉中学校ソフトボール部は3倍の努力、いやそれ以上の努力をしてきました。雨が降っても、雪が降っても、風が強い寒い日でも、炎天下でも屈せず練習をやり続けました。その不屈の精神力には頭が下がります。また、そんな我が子を見守り続けてきた保護者のみなさまには、部員と同じようにつらいときもあったことと思います。

棚倉中学校ソフトボール部という存在を通して、吉田監督、24人の部員、それを支える保護者のみなさま、そして寸暇を惜しんで指導してくださった2人のコーチ穂積さん、五十嵐さん、ソフト部を応援してくださった多くの地域の方々との出会いがなければ、全中はなかったことと思います。多くの出会いに深く感謝します。本当にありがとうございました。そして、これからも棚倉中学校ソフト部をよろしくお願いします。

TEAM MATE チームメイト

根 本 百 果

キャプテンとしてチームをまとめ常に先頭に立ち、リードしてきた。その笑顔に助けられ、たくさんの事を教えてくれた頼もしい存在。

宮 川 眞 子

棚倉中が誇る東北No.1ピッチャー。人一倍練習に打ち込むすばらしい選手。みんなから尊敬されるあこがれの的です。

乾　恵里香

ムードメーカーという言葉が一番似合う選手。ピンチの時あの笑い声に何度救われたことか。先頭打者としての威圧感も十分。

小池 史緒里

八頭身美人。後輩思いでいつも優しくみんなの事をささえてくれる人。ファイトあるプレーでいつもみんなに勇気を与えてくれた。

大塚 あすか

見えない所で一生懸命努力してる人。新キャプテンとして新しい棚中を作り上げてくれる期待の星。ド根性No.1キャッチャー。

鈴 木 由 香

ピンチヒッターとして監督の期待に応え、チャンスをものにしてくれた。時には、ものまねなどで、チームの雰囲気を明るくしてくれる頼もしい選手。

佐 藤 郁 奈

後輩の面倒を見るのが上手で細かいところまで目が届く。バックの中にはいつもお菓子が入っているとのこと。

佐久間 菜摘

入部した頃から常に4番打者として活躍。東北、全国大会と大切な場面での一打がすばらしかった。新エースとして今、一番がんばっている。

酒井 沙三怜

普段は控えめな性格だが、バッターボックスに入ると目つきが変わり、バント、スラップと多彩な技を決める。天然キャラがみんなの人気者。

安部 奈緒子

いつも元気なあいさつで迎えてくれる。あの笑顔でだれもが癒される。ひたむきな努力がすばらしい。博士キャラは自慢の芸。

八 巻 千 夏

「努力」と言う言葉はこの子のためにある。人にやさしくてそして自分に厳しい。これからの活躍に期待が大きい。

矢 吹 陽 奈

ちょっとお調子者のところがあるが、つぼに入ったらとまらない。勝負強さはチームNo.1。意外性のある選手。

吉 田 梨 恵

内なる闘志を秘め普段はおとなしいが、外野からの送球はレーザービーム。ヒットを打ったあとの控えめなガッツポーズが微笑ましい。

鈴 木 詩 織

期待通りの活躍。全国大会出場が大きな自信となる。新チームの内野の要。

高 橋　　楓

期待の韋駄天。全国大会でもその俊足をいかし得点に絡む。打撃に力強さがでてきた。

佐 川 優 希

小学校時代、ソフトボール経験者。天然キャラでマイペース。強肩とシャープなバッティングが持ち味。

下重 菜津子

人一倍やさしい子。優しさの中にも闘志を秘め恵まれた体格でレギュラーを狙う。

佐 藤 彩 加

ユルキャラ。笑顔の素敵なパワーヒッター。不動の4番打者を目指す。

澄川 百合恵

未来のエース。
あまい笑顔で厳しいコースへ。狙え時期エース。

青 戸 沙 樹

一番の成長株。全国大会先発出場で自信をつけた。剣道も強いが、ソフトもうまい。

青 戸 佑 樹

チーム1のがんばりや。ボールを追うひたむきさは期待大。現在急成長中。

緑 川 摩 耶

ミニバスケ上りの元気娘。最近小さいボールにも慣れメキメキ上達中。

鈴木 ちなみ

未来の最強スラッパー。ここにきてメキメキと力をつけている。

STAFF スタッフ

コーチ
穂積　英一

厳しい練習と試合ばかりでした…。本当に強くなった「精神力」
“絶対に負けない”　心は、その気持ち一つ。
勝利への「執念」
仲間、そして家族の「絆」
すべての人の「団結」…　そう確信します。
苦しくて苦しくて、投げだしたかった人もいたはずです。
でも…　投げ出さなかった。
「耐えて耐えて　負けなかった　生徒一人ひとり」
“苦しいことから逃げなかったこと。苦労と勝負し、乗り越えたこと”
これをやり遂げたことこそが、“本当の勝利の実証”だと思います。
「愛情たっぷりの応援をくれた　保護者の皆様お一人おひとり」
「真心の激励をいただいた　皆様お一人おひとり」
この歴史的1ページの現実を起こした生徒、応援いただいた皆様
「お一人おひとりのおかげの勝利です」
心より御礼申し上げます。
生徒へ…　“よく やった”　“ありがとう”

コーチ
五十嵐　洋

君たち! 数々の感動をくれて本当にありがとう!
みんに教えてもらってるし、育ててもらってる。
感謝しかないです…本当にありがとう!
これからも目標に向かって頑張って下さい。

戦　績

第32回全国中学校ソフトボール大会

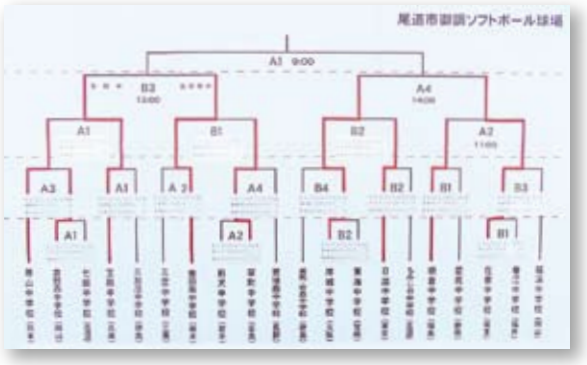
平成22年8月20日～22日　広島県尾道市御調ソフトボール球場

■ 2回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
愛　鷹	2	0	1	0	0	0	0			3
棚　倉	2	0	0	0	2	0	×			4

■ 3回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
棚　倉	0	0	0	0	0	0	0			0
在　家	0	0	1	5	0	0	×			6



ベスト8

広島の焼けるような猛暑の中、棚中は2回戦から登場し戦いの火蓋は切られた。1回表、初戦の緊張からミスが出て2点先制されるもその裏、宮川、佐久間のヒットでランナーを貯めると、頼れる3年乾のレフトの頭上を越す会心の3塁打で2人が生還し同点とする。

3回に1点リードされるも5回裏、宮川の2塁打でチャンスを掴み1死後、3盗を成功させると、すかさず3番、大塚がスクイズを決め同点に追いつく、相手のミスでランナーが残り、この試合2安打と好調の4番、佐久間に打順が回る。1ボールからの2球目を叩いたボールは左中間を深々と破る起死回生のタイムリースリーベースヒットになり、逆転に成功した。6回、7回と自分の投球を取り戻した宮川がランナーを出すも要所を閉め勝利し、ベスト8進出を決めた。

3回戦は、全国制覇を狙う埼玉県の在家中との対戦となった。序盤は投手戦の様相を見せていたが、3回表棚中の攻撃は7番矢吹から。2ストライクと追い込まれたが、5球目を叩いた打球はセンターの頭を越えフェンスまで届く。2塁を回った矢吹は猛然と3塁も蹴るが、相手チームのそつない中継プレーに阻まれ、本塁でタッチアウトとなった。

一方、在家中は3回裏に1点、4回には5点を追加。その後棚中自慢の集中打も在家中エースに抑えられ試合終了。棚中ソフト部の暑い夏はここで終わった。

第37回東北中学校体育大会女子ソフトボール競技

平成22年7月31日～8月1日　岩手県花巻市

■ 準々決勝

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
平賀西	0	0	0	0	0	0	0			0
棚　倉	0	0	0	0	0	1	×			1

■ 準決勝

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
藤　沢	0	0	0	1	1	1	1			4
棚　倉	0	0	0	1	0	6	×			7

■ 決勝

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
前　沢	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
棚　倉	0	0	1	0	0	0	0	0	1×	2

優勝

初戦、新人戦東北チャンピオン平賀西。くじ運が悪いと悔やんだ。毎回、得点圏にランナーを背負うピンチをしのぎ6回へ。その裏の棚倉中の攻撃4番佐久間のスクイズで3塁にいた宮川がかえり先制。最終回の7回表には、ヒットとフォアボールで無死満塁のピンチを迎えたが、内野ゴロとファーストダブルプレーで抑え辛勝。

準決勝対藤沢中戦。この試合、棚倉中は劇的な逆転勝利を飾る。3回表に先制を許した棚倉中はその裏、宮川が三塁打でチャンスをつくると、3番大塚がスクイズ。同点においつくも4回、5回と1点ずつ追加され3−1とピンチを迎えた。6回裏の攻撃、二死一二塁から佐久間のセンター前タイムリーで1点差に詰め寄ると乾のヒットで満塁。続く頼れるキャプテン根本が逆転となるセンター前2点タイムリーを放った。勢いは止まらず、矢吹が左中間を破るスリーランホームラン。6点を挙げ、相手を突き放した。最終回を1点に抑え決勝進出を決めた。

決勝は、岩手の強豪前沢中と対戦。3回裏の攻撃、宮川のホームランで幸先良く1点を先制するも、4回表に失策で同点に追いつかれ、このまま延長タイブレーカーへもつれこんだ。1−1のまま迎えた9回裏、4番佐久間選手が右中間を破るタイムリー。サヨナラ勝ちで優勝を飾った。

第53回県中学校体育大会女子ソフトボール競技

平成22年7月23日～24日　郡山市ふるさとの森スポーツパーク

■ 1回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
信　夫	0	0	0	0	0	0				0
棚　倉	0	2	1	0	2	3				8

■ 2回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
棚　倉	0	0	0	2	0	1	0			3
郡山六	0	0	0	1	0	1	0			2

■ 準決勝

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
棚　倉	3	2	2	0	0	0	0			7
田　島	0	1	1	0	2	1	0			5

■ 決　勝

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
行　健	0	0	0	0	0	0	0			0
棚　倉	0	0	0	0	1	0	×			1

優勝

V2

優勝候補が次々と姿を消すなか、棚倉中は信夫中に8−0のコールド勝ちで2回戦へ。優勝候補の郡山六中戦では2本のソロホーマーを浴びるも、佐久間のツーラン、乾の決勝タイムリーで3−2。2日目は準決勝で田島中と対戦。気温36度を越えるなか、棚倉中は序盤に大量得点を挙げた。後半に猛攻を受けたが逃げ切り、2時間を越える熱戦を制した。決勝戦は序盤から互いに点が取れず、0−0のまま終盤へ。5回の裏、バッター矢吹。ソフトの神様が天から降りてきました。神様は日々の厳しい練習を見守っていました。『この辺でご褒美をあげよう』…努力したチームに神様がくれた決勝本塁打!!

第53回県中学校体育大会県南総合体育大会ソフトボール競技

平成22年6月9日～18日　東風の台総合運動公園グラウンド

■ 1回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
沢　田	0	0	0	0						0
棚　倉	2	1	0	5						8

ノーヒットノーラン

■ 準決勝

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
棚　倉	0	0	0	7	1					8
西郷一	0	0	0	0	0					0

■ 決　勝

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
棚　倉	0	0	4	4	0					8
中　島	0	0	1	0	0					1

優勝

初戦、沢田中戦。初回乾の先制ホームランにはじまり2回、3回と相手チームを攻めたて4回に、打者一巡の猛攻でコールドゲームにする。投げては宮川が圧巻の12奪三振、ノーヒットノーランを決める。2回戦西郷一中は3回まで0―0の緊迫した試合がつづく。4回、宮川が相手のエラーで出塁するとそこから猛攻撃、一挙7点を奪った。その後も追加点をいれ試合をきめた。決勝は中島中。3回の攻撃、2アウトから連続安打で4点をあげる。その裏、宮川は今大会初失点を与えるも、危なげないピッチングで相手打線をシャットアウト。オールコールド勝ちで貫禄の優勝。

さわやかな田園のまちやぶきソフトボール大会

平成22年8月7日～8日　矢吹中学校グラウンド

■ 1回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
中　島	0	0	0	0	0					0
棚　倉	0	1	0	1	2					4

■ 2回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
棚　倉	2	5	0	0	6					13
塙	0	0	3	0	0					3

■ 決　勝

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
西郷一	0	0	0	0	0	0				0
棚　倉	0	0	2	0	2	3×				7

前年度優勝のプレッシャー。対塙戦で安打をゆるすも、1回戦から決勝戦までオールコールドで2年連続の貫禄勝ち。最優秀選手賞は宮川眞子、大塚あすか。閉会式にて中畑清氏が最高の応援団と大絶賛。佐久間団長の笑顔が印象的。

夏季強化大会

平成22年7月3日　宮城県仙台市長町中グラウンド

■ 1回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
棚　倉	0	0	0	0	0	0	0			0
平賀西	0	0	0	0	0	0	1×			1

■ 2回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
千　厩	0	0	0	0	0	0	0	0		0
棚　倉	0	0	0	0	0	0	0	1×		1

■ 決　勝

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
前　沢	0	0	0	0	0	0				0
棚　倉	1	0	0	0	0	×				1

初戦、強豪青森平賀西中。0－0のまま延長タイブレーカーに突入し、8回にスクイズを決められサヨナラ負け。第2試合はこれまた岩手の強豪千厩中と対戦。第1試合と同じく延長タイブレーカーにもつれこんだが、8回裏にスクイズを決め勝利し決勝進出。
決勝戦の相手は前沢中。棚倉中は初回、機動力をいかして1点を先制。エースの宮川は堅い守りに助けられフォアボールのランナー1人を出すだけの好投で1点を守りきった。

棚倉町ソフトボール協会杯　平成22年5月23日　棚倉中学校

■ 1回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
中　島	0	0	0	0	0					0
棚　倉	3	2	7	0	×					12

■ 準決勝

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
泉	0	0	0	0						0
棚　倉	1	6	4	4×						15

■ 決　勝

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
古　殿	0	0	0	0	1	0	0			1
棚　倉	2	0	1	1	0	3	×			7

優勝

初戦、2回戦ともに棚倉中の打線が爆発。いきおいが止まらぬまま、決勝へ。古殿戦も7点と大量点で快勝したが、1失点に監督、コーチが激怒！試合後の坂道ダッシュが最強チームになる試練か。ちなみにこの大会で棚倉中は初優勝。

白河市議長杯　平成22年5月9日　白河市総合運動公園

準優勝

■ 1回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
高　久	0	0	0	0	0					0
棚　倉	2	0	2	0	1					5

■ 2回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
棚　倉	0	0	1	0	1	1				3
古　殿	0	1	0	0	0	0				1

■ 準決勝

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
厚　崎	0	0	1	0	0	0				1
棚　倉	0	0	0	3	0	×				3

■ 決　勝

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
棚　倉	1	0	0	1	2					4
東那須野	3	0	0	3	×					6

キャプテンが怪我で欠場という状況で挑んだ大会。初戦、全国的にレベルの高い栃木県勢、高久中との試合は5−0で快勝。古殿中戦は先制点を奪われるも今回トップバッターの佐久間が本塁打、2塁打と活躍し逆転勝ち。栃木県厚崎中戦。やはり先制点を取られるが少ないチャンスをいかして4回裏に一挙3点を奪った。その後は堅い守りでにげきった。決勝は栃木の強豪、東那須野。互角の戦いではあったが、競り負けて準優勝。

河北べにばな大会　平成22年4月25日　山形県河北町

■ 1回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
棚　倉	2	0	2	3	1					8
河　北	0	0	0	0	0					0

■ 準決勝

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
棚　倉	0	0	0	0	0	2				2
羽　黒	0	0	0	0	0	0				0

■ 決　勝

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
棚　倉	0	0	0	0	0	0	0			0
松　島	0	0	0	0	1	1	×			2

はじめての招待試合。初戦河北、投打がかみ合い快勝。山形県No.1の羽黒中戦。両チーム無得点のまま最終回。棚倉中は1チャンスをものにし、接戦を制する。決勝は宮城県松島中。やはり緊迫した投手戦。相手の機動力に点をゆるし惜敗。準優勝ではあったが東北レベルのなか、善戦。次大会へつながる試合だった。

第27回中畑清旗争奪ソフトボール大会

平成21年8月8日～9日　矢吹中学校グラウンド

■ 1回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
棚　倉	0	3	0	0	3					6
泉	1	0	0	0	0					1

■ 準決勝

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
棚　倉	1	0	4	0	0	0	0			5
西郷一	1	0	0	0	0	0	0			1

■ 決　勝

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
沢　田	0	0	0	0	0					0
棚　倉	4	2	0	2	×					8

初戦、泉中は6−1で快勝。むかえた第2試合、新人戦県大会準優勝の実績を持つ西郷一中との対戦。事実上の決勝戦と見られたが5−1とわずか1失点に抑え決勝戦に臨んだ。過去3年間強豪チームに当たり、1回戦負けが続いた棚倉中だったが、決勝戦では対する沢田中を無失点の8−0で下し初優勝。

第20回東北中学校女子選抜ソフトボール大会

平成22年5月1日～2日　秋田県由利本荘ソフトボール球場

■ 1回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
前　沢	0	0	0	0	0	0	0	0		0
棚　倉	0	0	0	0	0	0	0	1×		1

■ 準決勝

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
長　町	0	0	0	1	0	0	0	0	5	6
棚　倉	0	0	0	0	0	1	0	0	2	3

第3位

初戦、前沢中、棚倉中共にピッチャーの力投で、スコアボードに毎回0点を刻みタイブレーカーへ。8回表宮川投手が前沢中を0点に抑え、その裏一死三塁のチャンス、大塚選手の中安打でサヨナラ勝ち。準決勝へと進む。

準決勝戦は長町中。4回に先取点を取られるも、6回裏酒井のバントヒットで1点を返しタイブレーカーにもつれこむ。9回表2安打ながら足を絡めた攻撃で棚倉中の守備の乱れを突き、打者一巡で長町中5点を加点。その裏棚倉中2点を返し、尚も二死満塁と攻め反撃するも、あと一歩及ばず敗退した。

福島民友新聞社杯2009県中学校新人ソフトボール大会

平成21年10月30日～11月1日　福島市十六沼運動公園スポーツ広場

■ 1回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
棚　倉	1	1	4	4	2					12
郡山五	0	0	0	0	0					0

■ 2回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
棚　倉	0	0	0	0	1	0	0			1
河　東	0	0	0	0	0	0	0			0

■ 準決勝

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
郡山六	1	0	0	0	0	0	0			1
棚　倉	1	0	0	0	1	0	×			2

■ 決　勝

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
棚　倉	2	0	1	1	0	0	1			5
浪江東	0	0	0	0	0	1	0			1

優勝

準決勝、棚倉中は郡山六中と対戦。1回表に1点を挙げられたが、その裏の攻撃で同点に追いつき、5回には勝ち越しとなる1点を追加。そのまま逃げ切り決勝へと進んだ。決勝戦、対戦相手は今大会絶好調の浪江東中。試合開始早々、1番の乾の2塁打をかわきりに猛攻撃。4回、根本のトリックプレーには応援している保護者もだまされる程。投げてはエース宮川が浪江東打線から7奪三振、2安打に抑える好投。見事、初優勝を飾る。

第22回県中学校新人ソフトボール競技県南地区大会

平成21年10月4日　古殿町民グラウンド

■ 1回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
棚　倉	2	1	0	2	2					7
中　央	0	0	0	0	0					0

■ 2回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
棚　倉	2	1	0	5	0					8
白河南	0	0	0	0	0					0

■ 決　勝

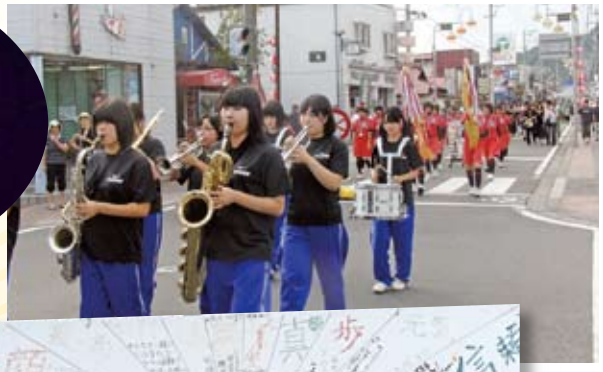
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
棚　倉	0	0	0	2	0	0	0			2
東　北	0	0	0	0	0	0	0			0

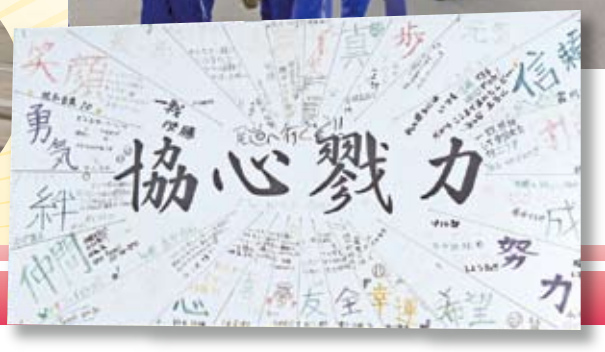
優勝

8チームがトーナメントで熱戦を繰り広げ棚倉中は決勝まで全ての戦いで快勝。迎えた決勝戦。対戦したのは白河市の東北中。息づまる投手戦。4回、足でつなぐ確実な打線で2点を先取。守りはピッチャー宮川投手が東北打線を完璧に封じ、2年連続の栄冠を勝ち取った。

練習風景

応援団





芳名帳

※アイウエオ順

【企業団体】

赤館自動車整備工場
安住石材店
㈱イイダ
居酒屋かよ
㈲石井造園
㈲伊勢喜肉店（鈴木清周）
韋駄天
㈲市川
市本木工所
伊藤精肉店
乾家従業員一同
岩鍋建築
薄井商店
薄葉工務店
ウルフ
㈲エーワン保険サービス
㈱海老屋運送
㈱エフ・エス
遠藤ペットセンター
㈲エンドウスポーツ
扇若ソフトボールクラブ
㈲大竹工務店
㈲岡工務店
㈱オキナテック
おっかさん
おばまや
表郷中保護者会
㈲花月庭園
割烹和
㈲金澤一郎商店
かなざわ亭
亀ヶ城スポ少
㈱神林建設
喜多鳥
久桁屋酒店
櫛本
ケーキハウスコンドー
㈱K·S·Cアミューズパーク棚倉
コインランドリー晴天
㈱後藤工務店
㈱コトブキ家商事
㈱コバヤシ
小判寿司
コミネヤ
近藤整骨院
㈲近藤燃料
㈲酒井電設
栄屋菓子店
㈲坂本鉄筋工業
佐久間輪店
㈱シーズ
㈲下重建設工業
シューズスポーツまつもと
白河信用金庫棚倉支店
新富家
JA東西しらかわ棚倉支店
JRバス関東白河支店
㈲鈴木商会
スズキ整骨院
㈲鈴木銃砲火薬店
㈱鈴木伸幸建築事務所
㈲スズキ木材
㈲スターオート
ストウ木工所
スパリゾートあぶくま
㈲宗田商事
宗田薬店
㈱相馬工業
高田産商㈱
高野スポーツ少年団
高野スポ少指導員一同
㈱タカハシ印刷
㈱高橋工材
高峰クラブ
㈲滝深商事工業
竹の家
棚倉一区スポーツ少年団
棚倉SSクラブ
棚倉オリオンズ
棚倉ソフトボールクラブ一同
棚倉バッファローズ
棚倉ホーマーズJスポ少
棚倉町消防団部長会
棚倉町職員消防隊
棚倉町ソフトボール協会
棚倉町ソフトボール審判協会
棚倉町土木工友会
棚倉ライオンズクラブ
㈱ダリヤ観光バス
ちかつや
つつじヶ丘接骨院
㈲常豊工務店
圓谷運輸㈲
つむら
ツムラヤ㈱白河営業所
㈱ツルハドラッグ棚倉店
帝京安積高校ソフトボール部
㈱東白堂
東北中ソフトボール部三年生保護者
東北中ソフトボール部保護者会
トーモク㈱
ドルフィンズ
流愛球会壮年一、二部
㈲なかや文具店
ニュー新町ソフトクラブ
東白川ソフトボール協会
㈲ビックワン
ひるた建具
ヒロト運転代行
福島トヨペット㈱棚倉店
フジ住設工業
藤田建設工業株式会社
㈱藤田組
藤田石油㈱
㈲富士電業社
ふるさと鳥久
ヘアーサロンやまき
㈱星電設
ボディーショップチャンバー2&4
堀川愛生園職員一同
本多設備工業㈱
㈱増子工務店
㈲益子総合会計事務所
松本酒店
水谷工業㈱
緑川建材工業㈱
緑川自動車整備工場
緑川板金工業
南商事㈱
㈲宮川製作所従業員一同
メッツ
やきとりはる
焼肉代官
ヤブキ塗装工芸
山本ソフト一部
山本ソフト二部
八溝マテリアル㈱
㈲吉田製作所
㈲吉田電気工業所
よしなり食堂
ライオンズ
ライナーズ
ルネサンス棚倉
レディース棚倉

【個人】

青戸秀樹
青砥弘
秋山勝則
安部寿男
安部道典
荒川文雄
五十嵐勇二
石井美寛
石井美由樹
稲守正
今井淳子
上野清蔵
薄昌好
薄井忠一
薄葉一人
生方一郎
生方重憲
生方美千雄
生方康祐
江戸知子
遠藤伸介
大竹盛栄
大谷クニエ
大谷直樹
大野秀一
岡部定美
小川久江
奥原弘之
小倉栄市
長田修一郎
小浜敏光
覚方達次
尾又勇二
小山田米子
鹿取亜希子
金澤和子

※アイウエオ順

金澤寛二
金澤邦和
金澤静子
金澤博信
金澤義昭
金子信弘
川丘孝嘉
川瀬浩二
川村芳和
菊池市太郎
菊池信男
岸波和則
岸波敬四郎
岸波昇
岸波ヤスノ
熊田秋夫
甲賀人志
五江渕静江
後藤綾乃
小林一夫
古張金一
近藤賢太郎
近藤平治
近藤正光
近藤泰則
近藤幸子
斉藤征雄
斉藤弥生
斉藤祐子
斉藤義彦
酒井成弘
酒井裕次
坂本正光
坂本広喜
坂本裕子
佐川真理子
佐川道広
佐久間幸一
佐藤治友
佐藤三枝子
佐藤美穂
佐藤義富
差波孝行
塩田一男
塩田福司
塩田吉雄

白石光雄
白瀬邦夫
陣野一弥
菅原俊博
鈴木秋義
鈴木英征
鈴木和男
鈴木勝男
鈴木勝弘
鈴木元
鈴木シゲコ
鈴木俊一
鈴木進
鈴木達也
鈴木貞良
鈴木敏光
鈴木ハツミ
鈴木博美
鈴木みあき
鈴木ミヤ
鈴木隆治
須藤勝夫
須藤俊一
須藤純子
須藤隆雄
須藤芳信
関進
関根勝浩
関根誠一
添田真也
高坂俊一
高杉亮
高橋忠治
高橋豊治
高橋延義
高橋美奈子
高橋幸喜
高松浩一
高宮正志
田中喜一
田谷明徳
田谷賢一
月井勝利
照沼浩美
富岡浩一
富岡美恵

富岡行男
富岡潤一
中島寿吉
中丸洋子
永山親雄
生田目孝
西牧清
沼田和美
沼田重一
沼野謙一
沼野博
根本助信
根本登
野中房子
芳賀保二
芳賀和代
橋本紀一
早見勉
原勝則
原喜八郎
原啓子
原孝一
蛭田和英
蛭田昌一
蛭田卓雄
蛭田敏夫
蛭田啓
蛭田誠
蛭田三重
蛭田美智男
蛭田良昇
深谷峯博
藤井きみ江
藤田昭子
藤田喜作
藤田裕美
藤田靖
藤成実
保住明人
穂積様
保住知善
穂積由紀子
堀口長吉
本郷憲一
本間清一
籬展和

曲山智重
益子寛志
増子義一
増子サク
松下美奈
松本多喜男
松本博和
松本ひとみ
松本稔
丸山栄一
緑川修一
緑川高士
緑川宏芳
緑川政美
緑川光子
緑川清一
三森孝浩
宮川安子
村越誠
八旗義光
八巻忠弘
八巻祐三
山口彌代
山田武史
湯座一平
吉田和枝
吉田信也
吉田隆子
吉田竜雄
吉田鉄哉
吉田いずみ
吉原直隆
和田功
渡邉勝浩
渡邉浩行
渡辺文子
和知幸子

御　　礼

棚倉中学校ソフトボール部
保護者会長　宮川　政夫

日頃より、棚倉中学校ソフトボール部に対しまして、ご支援ご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。また、このたびの全国大会出場にあたりまして、多くの団体、企業、町民の方々より激励金を頂きましたことに重ねて御礼を申し上げます。お陰様をもちまして子どもたちは、中体連県大会優勝、東北大会優勝、そして全国大会ベスト8という輝かしい成績を収めることができました。

夢にまで見た全国大会出場。昨年夏までの目標は県大会ベスト4でしたが、昨秋の新人戦県大会では誰しも予想しなかった優勝。このことが子どもたちの大きな自信につながったと思います。それ以降、練習に取り組む姿勢も積極的になり、どんな大会に出場しても恥ずかしくない立派なチームに成長しました。「結果がどうあれ、最後まで頑張りぬく精神力」が植え付けられ、チームのモットーである「努力は嘘をつかない」ことを、全国大会出場というかたちで実現させました。

今年の中体連は、地区大会三試合、県大会四試合、東北大会三試合、そして全国大会二試合。どの試合も厳しい戦いでしたが、すべてが記録にも記憶にも残る素晴らしい試合の連続で、私たちの期待以上に「棚倉旋風」を巻き起こし、感動を与えてくれました。

これからは、これらの成績に満足することなく、さらに上を目指して努力していくことと思いますので、今後ともご指導ご支援をよろしくお願いいたします。

また、これまで熱心に指導して頂きました顧問の吉田先生、上野先生。厳しい練習の中にも子どもたちをしっかりと支えて下さった、全国大会出場の立役者、穂積コーチ、五十嵐コーチ。そして物心両面からバックアップして下さいました保護者の皆さま。本当にありがとうございました。

棚中ソフトボール部が今後ますます素晴らしいチームになることを祈念しますとともに、これまで棚中ソフトボール部を支えて下さった全ての方々に感謝し、御礼とさせて頂きます。

発行責任者　棚倉中学校ソフトボール部保護者会

願いは叶う…